

議会だより

かみやま

第18号

2013.8.15

6月定例会



川遊びで賑わう鮎喰川／高瀬リバーフロント（阿野字齒ノ辻）

6月定例会

6月定例会は、6月19日から24日まで6日間の会期で開催した。

提出議案は、補正予算外専決6件、補正予算5件、財産の取得2件、請負契約4件、変更請負契約1件、人事案件2件、計20議案を審議しいずれも原案どおり可決、承認、同意した。

一般質問では、5議員が登壇し（5ページから掲載）それぞれ町の考えを質問した。

24年度補正予算 専決

専決補正予算は、一般会計補正予算と3特別会計補正予算が提案され一般会計補正予算は、主に基金積立金で、3特別会計補正予算は減額補正となっている。

一般会計	48億 965万円（2億3854万円）
国民健康保険特別会計	10億7935万円（▲3289万円）
簡易水道事業特別会計	1億8612万円（財源内訳変更）
後期高齢者医療特別会計	1億1673万円（▲137万円）

（▲は減少を表す）

平成25年度
6月補正予算

一般会計補正予算ならびに、4特別会計補正予算が提案され総額で2億318万円が追加された。

一般会計補正予算は、主に財政調整基金積立金、先天性風しん症候群対策事業委託料で国民健康保険特別会計は、一般被保険者療養給付費、財政調整基金積立金となっている。

一般会計	42億3,992万円(9,692万円)
国民健康保険特別会計	9億9,330万円(9,026万円)
簡易水道事業特別会計	2億9,444万円(710万円)
介護保険特別会計	9億6,006万円(878万円)
後期高齢者医療特別会計	1億2,820万円(12万円)

(左は予算総額、()内は6月補正額)

主な内容

財政調整基金積立金	6,706万円
コミュニティ助成事業補助金	500万円
先天性風しん症候群対策事業委託料	100万円
(国保) 一般被保険者療養給付費	4,026万円
(国保) 財政調整基金積立金	5,000万円

行政報告等

町長から行政等の報告があった。その概要については、次のとおりである。

■平成24年度の出納閉鎖時の決算状況は一般会計歳入総額43億6895万5534円に対し、歳出総額41億9033万1327円となり繰越財源7540万3000円を差し引、実質収支は1億322万1207円の黒字となった。

■国民健康保険特別会計は、歳入歳出差引額は9972万3032円。簡易水道事業特別会計は、歳入歳出差引額は1027万634円、介護保険特別会計では、歳入歳出差引額が877万5967円、後期高齢者医療特別会計は、歳入歳出差引額は11万8300円となった。

■財政状況の厳しい中、財政調整基金からの大幅な繰り入れもなく執行できた。これは地方交

付税が、対前年比2・2パーセントの減少に留まり、予算の執行も経費の削減努力等によるものである。

■国道関係の主な予算は、国道438号道路改良事業として、上分バイパスに3億3000万円、緊急地方道路整備事業として、県道石井神山線の北馬喰草に1億1500万円、神山鮎喰線南馬喰草に1億7000万円、石井神山線長代に4000万円、また道路局部改良事業として、鬼籠野国府線の一ノ坂、



国道438号 上分バイパス (門屋)

鴨島神山線の地ノ平二ノ宮間、国道438号の本上角でそれぞれ400万円ずつ、また石井神山線の函ノ辻でテスト100万円の予算が配分をされている。

■胎児と母体を守り障害を持つ子供さんを発生させないという観点から先天性風疹症候群対策事業について新設をしている。

■緊急避難場所設置備品購入費は、南海トラフ巨大地震に備えるため防災用備品の購入に市町村振興協会より助成を受け、防災備蓄用倉庫の購入や非常用浄水装置、毛布の追加や災害用食器類の購入に予算を追加計上している。

■社会教育費は、防災キャンプ推進事業に自然体験活動の推進を図るとともにキャンプを通じて防災教育を行うというもので徳島県より補助金を頂き、神領小学校において実施する。

■その他防災、減災事業関係で対応が急がれている役場本庁舎の耐震化工事の請負契約の締

結、デジタル防災無線施設整備工事(第1期)請負契約の締結、広野公民館耐震改修工事請負契約の締結、上分公民館の建て替え工事の請負契約の締結、人事案件として固定資産評価審査委員会委員の選任、副町長の選任についてが重要な議題となっている。

等々の報告があった。

諸報告

○平成25年3、4、5、6月分の例月出納検査報告

監査委員から一般会計及び特別会計に属する出納状況を出納機関の諸帳簿、指定金融機関提出の収支日計表、証憑書類と照合した結果、過誤のないことを確認したことの報告があった。

○平成24年度各会計出納閉鎖時における出納状況の監査の結果報告

監査委員から会計管理者所管の一般会計及び特別会計に属す



地域を守る防災無線

る平成25年5月31日現在における出納状況と各金融機関の現在の確認と定期預金について会計管理者保管の定期証書の照合確認、一時借入金の高の残高の有無について、残高のない旨を確認したことの報告があった。

○繰越明許費の繰越計算書報告
簡易水道事業繰出金、林道点検診断事業、森林管理道立木補償事業、森林整備加速化・林業再生事業、社会資本整備総合交付金事業、道路改良舗装事業(辺

地)、道路改良舗装事業、公立
 学校施設整備事業(小・中)、
 公民館新設事業、公民館施設耐
 震整備事業、防災行政無線整備
 事業、現年公共災害施設復旧事
 業、中央簡易水道施設整備事業
 について、平成24年度に支出が
 終了しない見込みの経費で、あ
 らかじめ議決を経て繰越された
 経費の報告があった。

○株式会社神山温泉の経営状況
 報告

平成24年度の「いやしの
 湯」入場者数160,072人、
 ホテル四季の里宿泊者数
 9,864人、総売上高約4億
 9000万円、(内道の駅約1
 億4400万円)、経常利益が
 7,190,091円で、純利益
 が5,260,591円の黒字で
 あったなどの報告があった。

○議員派遣報告

第22回徳島県町村議会議員研
 修会など2件について報告が
 あった。



年間入場・宿泊17万人 神山温泉

条例制定・改廃等

○神山町国民健康保険税条例の
 一部改正

特定世帯等に係る国民健康保
 険税の軽減特別措置が延長等さ
 れ、被保険者であった者が、国
 民健康保険から後期高齢者医療
 制度に移行する場合に、国民健
 康保険税の軽減判定所得の算定
 の特例を恒久化されるなどであ
 る。
 (賛成多数承認)

人事案件

○神山町固定資産評価審査委員
 会委員の選任

神山町鬼籠野字西分338番地2
 上田 稔氏 (同意)

○神山町副町長の選任

神山町阿野字大地182番地
 大野富美雄氏 (同意)

議員発議案

○神山町議会議員の議員報酬、
 費用弁償及び期末手当に関す
 る条例の一部改正

この条例改正は、議員が自己
 の都合により、任期中の連続す
 る2回以上の定例会の全てを
 欠席したときは100分の30、
 3回は100分の50、4回以上
 は100分の100を減額する
 ものである。また、6月1日又
 は12月1日現在この適用を受け
 ている者については、期末手当
 を支給しないと定めるものであ
 る。
 (賛成多数可決)

○議員派遣

災害発生時の避難誘導活動に
 ついて決定した。

○委員会の閉会中の継続調査

各常任委員会、特別委員会に
 おける案件について、閉会中も
 引き続き調査を行うと決定し
 た。

その他

○財産の取得

取得物件
 住民基本台帳ネットワーク
 システム更改委託業務(機
 器購入費)
 契約の相手方
 徳島市かちどき橋2丁目29
 番地1
 扶桑電通株式会社 徳島営
 業所
 所長 辻井伸之
 取得価格
 10,920,000円
 取得目的
 全国自治体との連携の安定

運用及びセキュリティ維持のため

(賛成多数可決)

○平成25年度神山町役場本庁舎耐震改修工事請負契約の締結
契約金額
194、145、000円

契約の相手方

徳島市金沢1丁目2番3号
株式会社北島コーポレーション

代表取締役 北島大介

(賛成多数可決)

○神山町デジタル防災行政無線施設整備工事(第1期)請負契約の締結
契約金額
272、685、000円

契約の相手方

香川県高松市一宮町258番地1
富士通ゼネラル・大日共同企業体

代表者 中井孝司

(賛成多数可決)

○平成24年度広野公民館耐震改修工事請負契約の締結
契約金額
55、020、000円

契約の相手方

徳島市中昭和町1丁目9番地
株式会社 国際

代表取締役 山田隆生

(賛成多数可決)

○平成24年度施行24年災第1号道路災害復旧工事変更請負契約の締結
アンカー工、角度調整台

座の数量の減、コルゲートフリーウム排水を高密度ポリに変更等により、契約金額を995、400円減額して、92、244、600円となったものである。



平成24年 名西消防組合議会 第1回 臨時議会

第1回臨時議会が、平成25年6月27日に名西消防組合消防本部で開かれた。本臨時議会では、平成25年度名西消防組合一般会計補正予算(第1号)を審議し、原案どおり可決した。

補正額 500万円(神山消防署消防救急デジタル無線整備施工管理業務費の追加等)
予算総額 6億3073万円



神山消防署通信室

一般質問



西崎 哲夫 議員

問 町内地域活性化団体の取り組みや、成果がマスコミ報道等で種々取り上げられている。

(イ) グリーンバレーをはじめとする町内活性化団体の活動等々に関する、町行政の対応について。

答 町長

県内に多くの団体があるが、注目を浴びている一つの町であり非常にうれしくありがたいと思っている。文化庁長官表彰でも行政とNPO等の地域おこし団体と連携しながら一定の成果を挙げているということ、町レベルの自治体が表彰を受けたというのはありがたいと



サテライトオフィス（下分字地野）

思っている。町とNPO法人を
始めとする地域おこし団体と神
山町は連携を今までやってき
て、ある種、今までの苦労が花
を開きつつあるのではないかと
認識している。

（ロ）成果の収集検証と、町行政に
於ける有効活用手法と対応と



サテライトオフィスで賑わいを取り戻す上角商店街

して、総務課内に一括化一元化
した地域活性化担当係を設置し
ては。

答

町長

担当が各課横断的な情報
交換等、共有しながら政策展
開、すなわちNPOや各種団体
と連携しながら推進していくと
いうのが現在のあり方でないか
と思う。

問

2 神山さくら会主導により
植樹されたさくらが、見

事に成長して町全体がさくらの
里になりつつある。こうした現
状を考え、対外的にも町全体
で、一定期間「神山さくらまつ



車と人で賑わった桜まつり（鬼籠野）

り」を実施する時期にきている
のではないか。既に従来から先
行している地域、団体があるの
で町が調整役となり実施する時
期にきているのではないか。

答

町長

今のような分散型、開花
時期も違うし、当然場所も見所
の場所も違う。ハード面等々（駐
車場等々）も勘案すると、一カ
所あるいは一体的というのは難
しいと思っている。

問

1 町職員採用について

神山町以外の方の採用が
多いのは何故か。



高橋和男 議員

町外から通勤されると、想定
外の大災害や東南海大地震の
時、町内に居住されていれば一
早く対策本部を設置して対応が
出来るのでは。職員採用に当
り、町内で居住する旨の要件を
付けられないのか。

再問

職員採用

平成23年度 町内2名、

町外2名

平成24年度 町内1名、町外3

名

平成25年度 町内3名、町外4

名

ほとんど町外職員採用で、神
山町に居住してもらって、やが
て結婚され7名の方が14名にな

り、子供2人生まれたら28名になって、小中学校の生徒の減少が少しでも緩和されればと思う。そこで若者が住んで子育ての出来る住宅、若者定住の住宅を考えてほしい課題だと思う。ちなみに上勝町では、職員採用について、上勝町で居住する旨を、実施要領でお願いをしていると聞く。

答

町長

災害発生時の職員招集の件、また人口減少のなか、児童、生徒の確保といった観点から神山町に住んでもらいたい、あるいは採用時に町内に住むことを、要件にしてはどうかという質問でしたけれども、心情的には分かるわけですが、公務上それを要件に謳うということは出来ないわけでありませう。これは憲法14条で、平等原則と出身地とか宗教などを条件にしてはならないと謳われています。それを踏まえて厳正に判断、採点した結果が、このようになって

いるので、ご理解を賜りたいと思います。



木元 史幸 議員

問 1 農業振興について農業戦略会議の目指すところ。課題、問題点は。

答

町長

農業の復活、再生を目指しスダチの改植、あわ春香の普



神山町加工特産品作り

及に努めている。

スダチについては、収穫時期が集中しない、貯蔵性の高い品種の改良に努めている。

問

2 学校給食における地産地消について

答

教育長

地元野菜に占める地元産は33・2%である。地消率を高めるにはお米である。



坂口 一之 議員

問 1 環太平洋経済連携協定(TPP)へ参加し七月から交渉に加わるとのことであるが町の基幹産業は農林業であり非常に大きな影響があると思いがその対応は。

答

TPPへの対応については、参加することに徳島県の町村会も反対の意見書を国



収穫間近のすだち

へ度々出しているところである。

町の特産品のスダチもレモン等の香酸柑橘の関税が0となると影響も大である。

農業戦略会議や農業指導班会また農協、生産者、さらには消費者等とタイアップしながら神山農業を守り育てていくため全力を尽す。

問

2 町民が一日に排出するゴミの量が人口十万人未満の市町村の中で神山町は全国第二位と少ないと広報に出ているがその原因は。

答

町民の協力により資源として再利用している他、高齢者も多いのでゴミ排出量の絶対量も少ないと考えられる。

また子どももいる家庭も少ないのでゴミ排出量も少ないと思われる。

質問者まとめ

高齢者や辺地に居住する人も多いので、ゴミを自家処理（焼却や山等へ投棄等）もあるやと思う。広報、防災無線、あらゆる機会を通じ指導を徹底する必要がある。



櫻本 雄一 議員

問

1 神山町は、林野率が約83%であるように山林が地域の大部分を占めており、地域のこれからの考えのうえで、無視して通れないほど大きな存在である。

森林の健全性を確保し、林業生産活動を持続的に行うと共に地球温暖化対策としての森林機能と森林資源の活用が、神山町にとり重要なことである。

本町林業の振興対策について取組状況を問う。

答

町長

間伐を中央森林組合とともに進めており、年平均200ヘクタールぐらいの間伐は進めているが、なかなか追いつかない状況である。山の境界明確化事業、企業参加の協働の森づくり事業を進めている。昨年度から上分で公有林化の事業を進めているが、さらに進めてまいりたい。

問

2 収入間伐に適した林齢になっている山林が多くなっており、原木を生産・搬

出する作業道は、必須である。作業道の整備や収入間伐が継続的に行われる取組が必要と思われるが、町の取組は。

答

産業建設課長

作業道の整備は、林業専用道として、林道規格に準ずる専用道を殿宮線と矢治谷線を整備中である。基金事業で搬出間伐などに必要な林道や町道からの支線、作業道は、徳島中央森林組合が整備をしているものもある。ただし作業道の整備は、利用区域面積の1割以上で施業を行わなくてはならないという条件があり、そのためには、森林経営計画が必要である。

収入間伐は、森林経営計画を立て、5ヘクタール以上、まとまった森林で搬出間伐を行うことにより、コストの削減が図られ、消費者に利益の還元を行うことができるものとする。

問

3 既存の作業道が災害等で使えない作業道がたくさんあるように思うが、何かよい方法は考えられないか。

答

産業建設課長

既存の作業道の管理は、原則地元管理をしていただいで



間伐で森林を美しく

いる。ただ、搬出間伐など施業を行う森林の場合は、森林組合が整備をしている。ただし整備に係る費用は、搬出間伐なので木材の販売金額から差し引きされるということになっている。

町長

今抜けている作業道の維持管理は、個人ではなかなか今の木材価格の中で難しい点があるうかと思われるので、国県に働きかけてまいりたい。

問

林業の活性化を目的として、山林所有者、現場作



整備が進む殿宮作業道

業員、共販所、製材業者、建築士、大工など広く林業関係者を結びつける組織を、行政が音頭をとり、立ち上げて、勉強、研究をしてもらい、木材の利用拡大、間伐材の活用等の提言をもらい今後の林業振興施策に活かせないか。

答

町長

建築用材として林業をどのように再生していくかという山元、山主、製材業者、建築家、消費者と一堂に会した研究会の立ち上げということは非常に重要な課題なので、先進地の事例も踏まえ研究してまいりたい。発想の転換ということを考えながら、神山のこれからの森林資源をどう活かしていくかという検討会をやらなければいけないと思っています。



行政視察など報告

第38回全国町村議会議長・副議長研修会に参加

住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任、開かれた議会を目指す取り組みについて、議会が果たすべき役割の重要性を再確認し活性化に活かすことを目的に東京メルパルクホールにおいて5月28、29日の2日間にわたり開催された。

1日目には東京大学法学部教授の金井利之氏の講演で町村議会に期待すると題し、1990年代に始まる「改革の時代」は次第に改革議論をインフレ化（あれもやれ、これもやれと）させ、改革の進行は暴走化を始め徐々に制度・組織崩壊に來しつつある。改革を進められないところは「既得権の牙城」と思われ更なる破壊を加速させると話され改革の正体を見誤ら



第38回全国町村会議長・副議長研修会

ないようにしないとけない。というところに注視した。平成の大合併については周辺部町村は「声」を失うことによって周辺部衰退を加速してしまったなど過去に振り返り解説し、また多面にわたり議員が住民からどう見られているか、今多くの自治体議会改革が進められているが住民生活への目に見える貢献

度があるのかなど身を乗り出し
たくなる話であった。

3時から各地方4議会の議

長がパネリストになり「これか
らの町村議会のありかた」を

テーマに議会活動の住民への報
告をどの様にしているか、住民

への説明責任を充分に果たせて
いるのか、それぞれの議会での

発表が行われた。ナイター議
会、サンデー議会など色々試し

たが傍聴にくるのは決まった住
民であり、なかなか多くの方の

傍聴を望めなかったことなどの
報告があった。また女性の議員

が少ない当町にとっては驚くよ
うな発表もあった。兵庫県の播

磨町議会は議員の半数が女性で
あり、また町長、教育長も女性

であるという女性上位の町であ
るが、住民に開かれた議会を目

指し町内5カ所での議会報告
会、議会広報誌の発行、本会議

の生中継など議会と住民との距
離感をなくす取り組みが行われ

るなど、それぞれの議会の熱心

な取り組みなどが発表され時間
の過ぎさが短く感じた。

(森本吉治)

勝名地区監査委員

視察研修に参加して

5月22日から3日間、勝名地

区の監査委員・事務局15名で、

北海道長万部町、白老町におい
て研修があった。

長万部町

人口 6,269人

予算額 3,920,000千円

駅弁「かにめし」の町として、

全国的に知名度があり、北海道
の交通の要所に位置し面積

310・8km²である。

函館と札幌の中間にあり、近
い将来、北海道新幹線の駅が設
置される事が決定している。

また東京理科大学のキャンパ
スを誘致し全国から毎年1年間
学生300人の住民票を置き、
全寮制で住んでいる。

1、町営住宅の収納率は高い方

であるが、徴収には苦労し
ている。新たな滞納発生予
防と累積滞納の整理に積極

的な努力が必要である。

2、町立病院の経営については

60床で稼働率60%、3億
9,000万円の繰入れ。

町立病院しかなく医師の確
保が難しい。

3、財政援助団体の監査につい
て、現段階では実施してい
ない。

4、業務処理上のミス(錯誤・

見落とし等)を防止するた
め各管理者はそれぞれの業
務に適したチェックの仕組
を考え、実施することが大

切であると提言している。

5、休日、夜間議会を開催し

て、団体単位で傍聴に来て
いるが、増員につながって

いない。

白老町

人口 19,102人

予算額 9,549,000千円

気候的には、雪の少ない土地
柄で面積427・5km² 森林面

積が75%を占め、観光や製紙業
等一次二次三次産業がバランス
良く営まれている。

1、夕張市の破綻以降、監査を
注視している。

2、監査の目的は業務の不正と
ミスを未然に防ぐことであ
る。同一職での長期勤務の
場合は不正等が発生しやす

い。
3、公営住宅が940戸あり、
滞納者の徴収については熱



長万部を視察



白老町を視察

心にあたっているが、滞納者の意識の見極めが大切である。

4、財政援助団体の監査が173団体147事業がある。書類を調べ正当な理由があるかどうか振り分け、事業費の大きな団体は細かく監査をする。

5、全ての事業の監査は出来ないが、抽出し重点的に実施している。

以上



徳島県町村議会議員研修会

第22回徳島県町村議会議員研修会に参加して

第22回徳島県町村議会議員研修会（徳島県町村議会主催）が5月10日、つるぎ町就業改善センターで開催され、県内16町村の議員・監査委員が講演に耳を

両町での研修を通じて、役立つ点や見習うべき事も多く今後の監査に生かしたいと思う。

（橋本 稔）

傾けた。

小坂重夫会長あいさつに続き開催町つるぎ町の兼西茂町長から歓迎のあいさつがあり、「巨樹の町つるぎ」を前面に掲げ、「巨樹ツアー」を開催するなどして、町への集客と活性化に取り組む紹介があった。

今回の研修会の講師に、俳優の八名信夫氏をお招きし、「悪役人生 人との出会い」と題して講演があり、ユーモラスに満ちたお話に加え、目をそらさず人生をどう前向きに生きるかによって、各々の人生が切り開かれる、といった心に残る講演だった。

八名さんは、講演を通じて子ども達の成長に、疑問や不安を抱くようになった。その原因として考えられるのが、昔はあちこちで見かけた、子どもたちを叱る大人が、今は町中にいなくなってしまうこと。そこで、



講師 八名信夫さん

子どもたちのしつけのために、怖い顔を持った悪役が必要とされるようになったエピソード、それは警察からの依頼であったとか。悪役として仕事をしているうちに、気づいたことは、物事なにもしない人ほど他人を否定し、よく笑う。

人として生きている限り、誰かの役に立つ人生を送りたい。その言葉で講演をとじられた。

（山本充良）



Q

一般質問・質疑とは

A

一般質問は、議員に認められた最も重要な権限です。議員は行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況や、将来における政策方針等について質問し、説明を求めることができます。町政に関する事件の範囲内であれば、事前に文章を提出し議場で発言することになります。

質疑は、定例会などの会議における議員の発言の一種で、理事者から提案された、予算、条例などの議案について、説明や所見を求めることです。



全国から神山町へ
行政視察が来ています。

行政視察は、先進地に伺い優れた行政施策を取捨選択して、自分の町の政策に反映させる目的を持っています。

近年神山町は、過疎、少子高齢化の問題に正面から取り組み全国から、行政視察の対象として注目を集めている町です。

※視察の主な目的

○企業誘致政策

(サテライトオフィス)

○移住交流支援

○神山A-R事業

○子どもはぐくみ医療助成制度

○保育料第二子以降無料化

※最近の神山町への視察議会

米原市議会 (滋賀県) 5/24

南砺市議会 (富山県) 6/28

湧谷町議会 (宮城県) 7/3

いなべ市議会 (三重県) 7/18

羽幌町議会 (北海道) 10/22

直島町議会 (香川県) 10/29

常陸太田市議会 (茨城県) 10月

岡谷市議会 (長野県) 10月
多良木町議会 (熊本県) 10月



湧谷町議会の視察

議会を傍聴しませんか！

皆さんが選んだ代表が議場でどんな発言をしているのかお確かめ下さい。
どうぞお気軽にお越し下さい。

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)に開かれます。
日程・手続き等は議会事務局へお問い合わせ下さい。
神山町議会事務局
TEL
676-11511
「TP20002」

次の定例会は

9月中旬です。

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。
今年の梅雨は、じめじめとした湿気を感じることも少なく過ぎ去ったように感じます。

この時期は雨による災害が起き易く、六月には静岡県で大きな土砂崩れがあったとニュースで報道されておりました。神山町も山間部に位置し、毎年のように土砂崩れ等の災害が起こっており他事ではありません。行政による災害対策はもちろんのこと、普段からの皆さま方の災害に対する準備や心構えが一番大事であろうかと思えます。人命を損なうことなきよう私自身も重く受け止め、町の災害対策に取り組んでいきたいと思っております。

広報発行にあたり、議会活動をより皆さま方にお伝えできますよう広報委員一同、研鑽を努めてまいりますので、今後ともご指導よろしくお願ひ申し上げます。

(五島 准介)